

業務状況の公表

鹿屋市告示第268-3号

地方公営企業法第40条の2第1項及び鹿屋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例第8条の規定に基づき、令和3年3月31日現在の鹿屋市水道事業の業務状況を次のとおり公表する。

令和3年6月1日

鹿屋市長 中西 茂

目 次

1	事業の概要	1
2	業務量	1
3	経理の状況	2
4	企業債の状況	2
5	令和2年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況	3
6	令和3年度鹿屋市水道事業当初予算の概要	5

令和2年度 鹿屋市水道事業下半期業務状況説明書

1 事業の概要

本年度は、「鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）」の2年目であり、ビジョンで掲げる基本目標である「持続」・「安全」・「強靱」に基づく事業を計画的に推進するため、漏水の原因となる老朽管及び耐用年数が経過している浄水施設・送水施設等の更新を実施し、施設の健全化、市民への安定供給に努めた。

また、水源問題や老朽施設を抱えた地区への安定給水に対応するため、中長期的な視点で施設統廃合による配水区画の再編等を検討する「鹿屋市水道事業施設規模適正化計画」を策定した。

2 業務量

年度別 区分	令和2年度 下半期	令和2年度 上半期	増 減	令和2年度末 現在
給水区域内人口 (A) (人)	98,244	99,182	△ 938	98,244
現在給水人口 (B) (人)	96,658	97,521	△ 863	96,658
現在給水戸数 (戸)	48,033	48,173	△ 140	48,033
普及率 $\frac{(B)}{(A)} \times 100$ (%)	98.39	98.33	0.06	98.39
年間総配水量 (m ³)	6,439,093	6,622,794	△ 183,701	13,061,887
年間有収水量 (m ³)	5,201,848	5,397,434	△ 195,586	10,599,282
有収率 (%)	80.79	81.50	△ 0.71	81.15

※ 普及率及び有収率の増減の単位はポイントである。

3 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現計予算額	執行額		決算額	予算に対し 増減額
			下半期	上半期		
	水道事業収益	1,851,764,000	1,098,747,887	792,456,308	1,891,204,195	39,440,195
	営業収益	1,605,557,000	865,767,792	781,345,702	1,647,113,494	41,556,494
	営業外収益	246,197,000	232,980,095	10,953,856	243,933,951	△ 2,263,049
	特別利益	10,000	0	156,750	156,750	146,750
支 出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
	水道事業費用	1,617,248,000	991,764,143	546,914,568	1,538,678,711	78,569,289
	営業費用	1,508,560,000	906,876,674	523,225,804	1,430,102,478	78,457,522
	営業外費用	108,578,000	84,887,469	23,688,764	108,576,233	1,767
	特別損失	110,000	0	0	0	110,000
	予備費	0	0	0	0	0

(2) 資本的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現計予算額	執行額		決算額	予算に対し 増減額
			下半期	上半期		
	資本的収入	46,274,000	18,997,644	26,662,899	45,660,543	△ 613,457
	負担金	35,490,000	7,753,038	26,586,449	34,339,487	△ 1,150,513
	補助金	622,000	1,092,000	0	1,092,000	470,000
	固定資産 売却代金	10,000	0	76,450	76,450	66,450
	出資金	10,152,000	10,152,606	0	10,152,606	606
支 出	区 分	現計予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
	資本的支出	824,133,000	297,114,831	465,026,446	762,141,277	61,991,723
	建設改良費	652,605,000	210,846,815	379,766,725	590,613,540	61,991,460
	企業債 償還金	171,528,000	86,268,016	85,259,721	171,527,737	263

4 企業債の状況

(単位:円)

前年度末残高	本年度借入額	下半期償還高	上半期償還高	本年度末残高
2,381,160,520	0	86,268,016	85,259,721	2,209,632,783

5 令和2年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況 (消費税抜)

(令和3年3月31日)

資 産 の 部

(単位：円)

1	固 定 資 産			
	(1)有形固定資産			
	イ 土 地	627,094,307		
	減損損失累計額	<u>△ 14,543,133</u>	612,551,174	
	ロ 建 物	1,332,448,559		
	減価償却累計額	△ 483,083,818		
	減損損失累計額	<u>△ 5,610,265</u>	843,754,476	
	ハ 構 築 物	22,861,759,637		
	減価償却累計額	△ 12,102,688,711		
	減損損失累計額	<u>△ 29,587,575</u>	10,729,483,351	
	ニ 機 械 及 び 装 置	2,288,618,696		
	減価償却累計額	△ 1,610,514,178		
	減損損失累計額	<u>△ 9,997,525</u>	668,106,993	
	ホ 車 両 運 搬 具	42,282,978		
	減価償却累計額	<u>△ 36,506,562</u>	5,776,416	
	ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	107,873,838		
	減価償却累計額	<u>△ 71,850,249</u>	36,023,589	
	チ 建 設 仮 勘 定		62,300,690	
	有形固定資産合計		<u>12,957,996,689</u>	
	(2)無形固定資産			
	イ 電 話 加 入 権		723,751	
	ロ 施 設 利 用 権		<u>165,228</u>	
	無形固定資産合計		888,979	
	(3)投資その他の資産			
	イ 投 資 有 価 証 券		<u>100,000</u>	
	投資その他の資産合計		<u>100,000</u>	
	固定資産合計		<u>12,958,985,668</u>	
2	流 動 資 産			
	(1)現 金 預 金		2,974,958,938	
	(2)未 収 金	318,356,920		
	未収金貸倒引当金	<u>△ 5,004,977</u>	313,351,943	
	(4)貯 蔵 品		9,408,082	
	(8)そ の 他 流 動 資 産		<u>1,100,000</u>	
	流動資産合計		<u>3,298,818,963</u>	
	資 産 合 計		<u><u>16,257,804,631</u></u>	

負債の部

(単位：円)

3	固定負債		
	(1) 企業債		
	イ 建設改良費財源に充てるための企業債	2,034,015,257	
	(4) 引当金		
	イ 退職給付引当金	260,552,000	
	固定負債合計		2,294,567,257
4	流動負債		
	(2) 企業債		
	イ 建設改良費財源に充てるための企業債	175,617,526	
	(5) 未払金	43,188,035	
	(8) 引当金		
	ロ 賞与引当金	16,802,619	
	ハ 法定福利費引当金	3,216,890	
	引当金合計		20,019,509
	(10) その他流動負債	5,264,421	
	流動負債合計		244,089,491
5	繰延収益		
	(1) 長期前受金	1,975,772,437	
	(2) 長期前受金収益化累計額	△ 1,333,621,471	
	繰延収益合計		642,150,966
	負債合計		3,180,807,714

資本の部

6	資本金		12,296,245,815
7	剰余金		
	(1) 資本剰余金		
	イ 受贈財産評価額	71,601,523	
	ハ 工事負担金	99,108,231	
	ニ 補助金	6,999,834	
	資本剰余金合計		177,709,588
	(2) 利益剰余金		
	ロ 建設改良積立金		
	ハ 当年度未処分利益剰余金	603,041,514	
	利益剰余金合計		603,041,514
	剰余金合計		780,751,102
	資本合計		13,076,996,917
	負債資本合計		16,257,804,631

6 令和3年度鹿屋市水道事業当初予算の概要

(1) 経営方針

本市の水道事業を取り巻く環境は、人口減少や節水機器、ペットボトルの普及等により給水収益が減少傾向にあること、施設の更新及び自然災害の対応等に多額の経費が必要であること、技術職員の減による知識の承継、人材育成が急務であること等が課題となっている。

このような認識のもと、将来にわたって安全で良質な水の安定的な供給を持続していくために、本年度実施した鹿屋市水道事業ビジョンの評価結果を踏まえ、基本目標である「持続」・「安全」・「強靱」に基づいた事業を推進するとともに、将来に向けた効果的な投資につなげていくための予算を基本とする。

(2) 業務の予定量

① 給水戸数	47,700 戸
② 年間総配水量	13,006,667 m ³
③ 1日平均配水量	35,635 m ³
④ 主要な建設改良事業 イ 送配水設備ほか改良事業	559,781 千円

(3) 主な事業

① 水道施設拡張事業

生栗須地区と古江地区の試験井掘削を実施し、新規水源の確保を行う。

② 管路整備事業

老朽管対策として、耐用年数を超過した管及び漏水が多発する管について、優先的に布設替（単独工事）等を実施する。

③ 水道施設更新事業

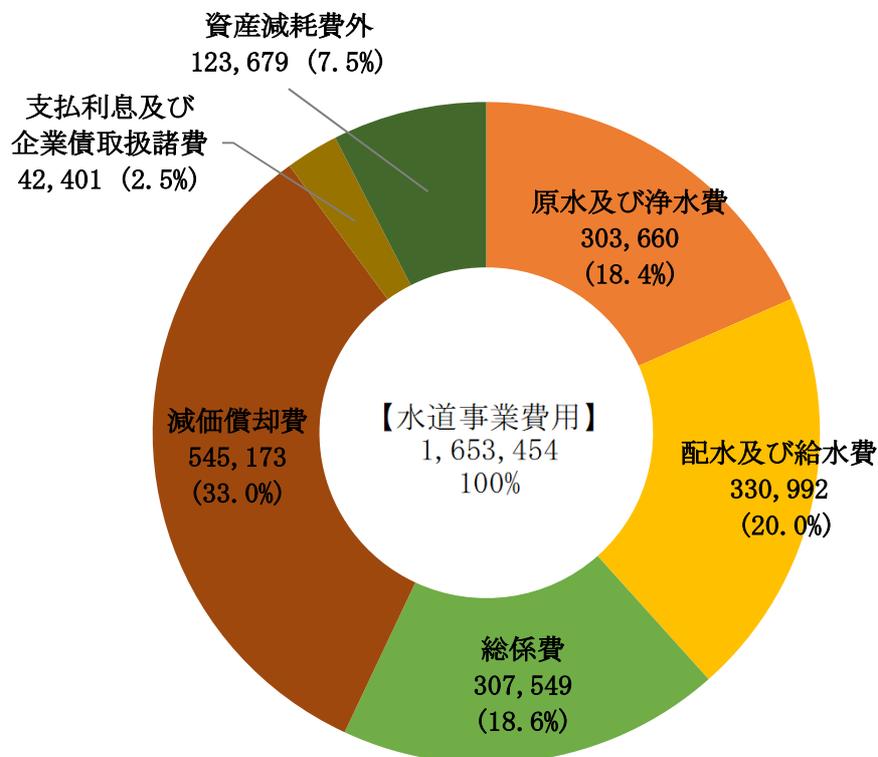
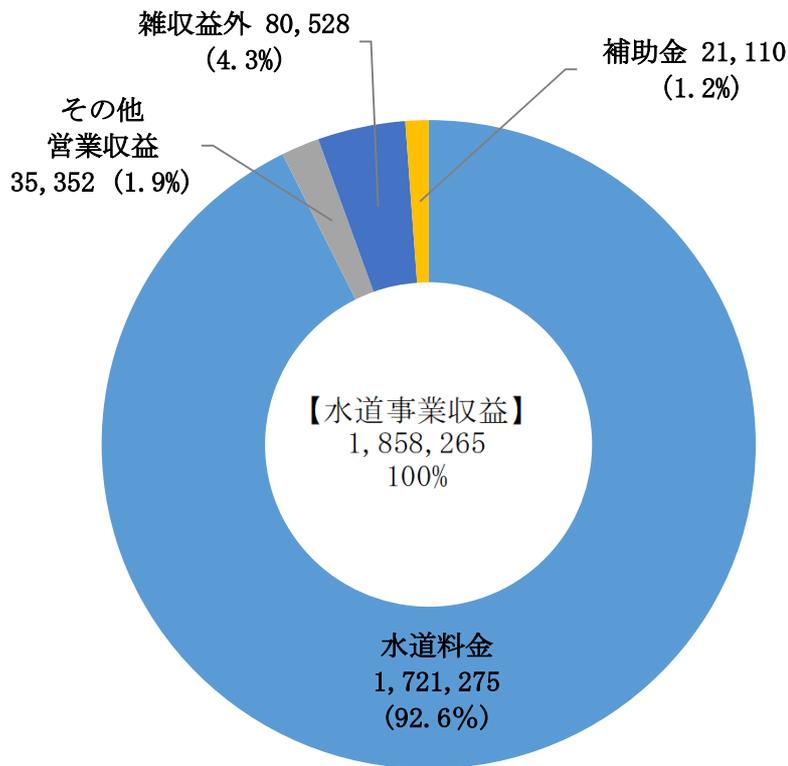
法定耐用年数が経過している浄水施設・送水施設等の年次的な更新と、送水能力が低下傾向にあるポンプ等の取替を実施する。

④ 水道施設台帳整備

水道法の改正により、水道施設を適切に管理するための水道施設台帳の作成が義務付けられたことから、既存システムを補完する形で台帳整備を行う。

(4) 収益的収入及び支出

(単位：千円)



(5) 資本的收入及び支出

(単位：千円)

